

平成24年11月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成24年4月10日

上場会社名 株式会社 ユーシン

上場取引所 東

コード番号 6985 URL http://www.u-shin.co.jp/

(役職名)代表取締役会長兼社長 代表者

(氏名) 田邊 耕二 問合せ先責任者(役職名)経理財務本部長 (氏名) 木下 和重

四半期報告書提出予定日 平成24年4月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日~平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

TEL 03-5401-4660

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	14,703	△1.4	723	△32.1	749	6.1	△54	_
23年11月期第1四半期	14,911	4.3	1,066	△6.8	706	△38.1	320	△60.6

(注)包括利益 24年11月期第1四半期 879百万円 (141.8%) 23年11月期第1四半期 363百万円 (△64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	△1.78	_
23年11月期第1四半期	10.48	_

(注)当第1四半期連結会計期間より有価証券の評価方法を変更し、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年11月期第1四半期	95,768	32,877	34.3	1,073.67
23年11月期	91,690	32,181	35.1	1,050.99

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 32,847百万円 23年11月期 32,154百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間より有価証券の評価方法を変更し、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭			
23年11月期	_	4.00	_	6.00	10.00			
24年11月期	_							
24年11月期(予想)		5.00	_	5.00	10.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日~平成24年11月30日)

	(%表示は、週期は対削期、第2四年期(系訂)は対削年同四年期増減率/									
	売上高		営業和	営業利益経		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	32,000	16.0	1,900	8.1	1,600	28.8	600	△4.1	19.61	
通期	64,000	9.6	3,900	2.2	3,600	19.0	1,600	△0.1	52.30	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 有

新規 1社 (社名) U-SHIN AUTOPARTS MEXICO.S.A. DE 、除外 —社 (社名) C.V.

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 有③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	31,995,502 株	23年11月期	31,995,502 株
24年11月期1Q	1,401,448 株	23年11月期	1,401,448 株
24年11月期1Q	30,594,054 株	23年11月期1Q	30,594,155 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期報告書レビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成24年1月13日の平成23年11月期決算発表時に開示した平成24年11月期(平成23年12月1日~平成24年11月30日)の業績予想を修正しております。 詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。 2.本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

2.本資料に記載されている業績予想は、現時点で人手可能な情報に基つき当社の経宮者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。 従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情 勢、為替レート、株価など様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご留意ください。

○添付資料の目次

1	. 当四	9半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2	・サマ	マリー情報(その他)に関する事項	3
	(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	•
3	四半	半期連結財務諸表	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	7
	(3)	継続企業の前提に関する注記	8
	(4)	セグメント情報等	8
	(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
	(6)	重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く経済情勢は、円高による向かい風が吹き荒れ国内完成品メーカーの生産数量が減少する昨年度終盤の状況を引き継ぐ形でスタートしました。当社の売上も国内主要客先向けを中心に厳しい時期がありましたが、客先において輸出向け製品の生産調整等の施策が一段落したこと、また円高が修正局面に入ったことにより販売の状況は改善しつつあります。

当第1四半期連結累計期間の業績について、連結売上高は14,703百万円(前年同四半期比1.4%減)となりました。また、営業利益は723百万円(同32.1%減)となり、これは主に自動車部門の売上減及び海外展開に伴う先行的な費用支出の影響を受けたことによるものです。この先行的費用を除けば前年同期と比べても基礎収益力は高まっており、今後グローバル最適調達の成果を高めることにより収益拡大を図っていく考えです。

また、中長期戦略の下で推進している研究開発能力の強化と国内生産施設の合理化を目的とした広島新工場の建設につきましては、1月に起工式が執り行われ現在は基礎工事を行っております。中国における生産施設の拡充並びにメキシコにおける米州戦略の中核となる生産拠点の設立を目的とした新工場の建設については、両国での土地の取得を終えて現在は建屋及び敷地の設計を進めております。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(自動車部門)

輸出向けの自動車生産が好調であった前年同期とは逆に、急激な円高により乗用車の輸出が大きく減少した一方で、トラックの生産は復興需要を受けてやや右肩上がりで推移しました。直近では、在庫調整の終了、超円高状態の緩和などから、納入状況は改善しております。自動車部門の売上高は9,687百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。また、営業利益は売上の減少と先行的費用の増加により、337百万円(同41.9%減)となりました。

(産業機械部門)

建設機械市場は震災後の復興需要も含め上昇傾向にあり、売上は安定して増加しました。また、農業機械市場も輸出向けの生産が若干上昇傾向にあります。産業機械部門の売上高は4,297百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は先行的費用の計上により331百万円(同23.2%減)となりました。

(住宅機器部門)

住宅機器部門においては市場及び主要客先ともに前年度から横這いで推移しており、売上高717百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益は48百万円(同14.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,078百万円増加し、95,768百万円となりました。この主な要因は、借入による資金調達によって現金及び預金が4,143百万円、広島新工場の建設等に伴い建設仮勘定が1,748百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ3,382百万円増加し、62,891百万円となりました。これは主に資金調達によるものであり、長期借入金、短期借入金及び社債をあわせた有利子負債の合計額が3,055百万円増加しました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ695百万円増加し、32,877百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が644百万円増加したものであります。

※当第1四半期連結会計期間より、有価証券の評価方法を変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値にて算出しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替等の影響により、期首の納入は予定を下回り推移しましたが、円高の修正やエコカー減税・補助金等の影響により現在は回復基調にあります。

しかしながら、平成24年1月30日に公表いたしました自動車部品の不具合対応費用として、当第1四半期連結累計期間に製品補償引当金繰入額を計上したため、第2四半期(累計)及び通期において当期純利益の減益を予想しております。

詳細につきましては、本日(平成24年4月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、U-SHIN AUTOPARTS MEXICO. S. A. DE C. V. を新たに設立し、連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

時価のあるその他有価証券の減損処理に基づく評価損の戻入れについて、四半期切放し法を採用しておりましたが、昨今の経済環境の著しい変化に起因する各四半期ごとの市況の変動による影響を排除し、財政状態及び経営成績をより適正に表示するため、当第1四半期連結会計期間より四半期洗替え法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及修正後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及修正を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は2百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は79百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	
The strong ten	(平成23年11月30日)	(平成24年2月29日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	35, 404	39, 548	
受取手形及び売掛金	16, 143	15, 822	
有価証券	4, 000	_	
商品及び製品	2, 955	3, 04	
仕掛品 	1, 165	1, 16	
原材料及び貯蔵品	3, 653	3, 73	
その他	1, 455	1, 733	
貸倒引当金	△289	△25	
流動資産合計	64, 487	64, 78	
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	4, 014	3, 98	
機械装置及び運搬具(純額)	4, 226	4, 10	
工具、器具及び備品(純額)	2, 250	2, 27	
土地	7,724	7, 96	
建設仮勘定		2, 46	
有形固定資産合計	18, 929	20, 79	
無形固定資産	308	39	
投資その他の資産			
投資有価証券	5, 941	6, 90	
その他	2, 265	3, 08	
貸倒引当金	△250	$\triangle 20$	
投資その他の資産合計	7, 956	9, 78	
固定資産合計	27, 194	30, 97	
繰延資産	7	,	
資産合計	91, 690	95, 76	
負債の部	31, 030	30, 10	
流動負債			
支払手形及び買掛金	5, 214	5, 16	
短期借入金	4,800	4, 80	
1年内償還予定の社債	1, 200	1, 20	
1年内返済予定の長期借入金	4, 872	4, 99	
未払金	6,011	5, 69	
未払法人税等	673		
製品補償引当金	301	34 1,00	
第中冊順切日並 賞与引当金	86	30	
乗 受り 当 金 役員賞与引 当 金	31		
では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		3!	
資産除玄領務 その他	1 202	621	
	1, 283	635	
流動負債合計	24, 474	24, 20	

		(華恒・日ガロ)
	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
固定負債		
社債	200	100
長期借入金	32, 657	35, 685
退職給付引当金	1, 238	1, 246
役員退職慰労引当金	111	111
資産除去債務	56	56
その他		1, 489
固定負債合計	35, 034	38, 690
負債合計	59, 509	62, 891
純資産の部	_	
株主資本		
資本金	12, 016	12, 016
資本剰余金	12, 122	12, 122
利益剰余金	11, 156	10, 919
自己株式	△831	△831
株主資本合計	34, 464	34, 226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	811
為替換算調整勘定	△2, 476	△2, 189
その他の包括利益累計額合計	△2, 310	△1, 378
少数株主持分	27	29
純資産合計	32, 181	32, 877
負債純資産合計	91, 690	95, 768

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

		(平匹・日刀口)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
売上高	14, 911	14, 703
売上原価	12, 515	12, 408
売上総利益	2, 395	2, 295
販売費及び一般管理費	1, 329	1, 571
営業利益	1,066	723
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	7	5
為替差益	_	184
その他	52	25
営業外収益合計	66	224
営業外費用		
支払利息	79	159
為替差損	191	_
コミットメントライン手数料	128	6
その他	26	31
営業外費用合計	426	198
経常利益	706	749
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
減損損失	24	_
製品補償引当金繰入額	_	721
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	_
特別損失合計	69	722
税金等調整前四半期純利益	638	29
法人税、住民税及び事業税	235	294
法人税等調整額	83	△209
法人税等合計	319	84
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	319	△54
少数株主損失 (△)	Δ1	$\triangle 0$
四半期純利益又は四半期純損失(△)	320	△54

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

		(十四・口/9/1)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	319	△54
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	644
為替換算調整勘定	△326	289
その他の包括利益合計	44	934
四半期包括利益	363	879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365	877
少数株主に係る四半期包括利益	$\triangle 1$	1

(3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	10, 120	4, 093	697	14, 911	-	14, 911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	4	1	59	△59	_
計	10, 173	4, 098	698	14, 971	△59	14, 911
セグメント利益	581	431	41	1, 054	11	1,066

- (注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去9百万円及び全社費用2百万円であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	9, 687	4, 297	717	14, 703	_	14, 703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	16	1	89	△89	_
計	9, 759	4, 314	718	14, 792	△89	14, 703
セグメント利益	337	331	48	717	6	723

- (注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去6百万円であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象 該当事項はありません。